

信号用のマストはレース本部のすぐ脇に設置される。

2017年 湘南CUP帆走指示書

SAILING INSTRUCTIONS

湘南カップ（以下、本大会という）はレーザー逗葉フリートの主催により2017年8月6日、レーザー逗葉フリートに本部を置き、鎌倉沖にて開催される。

1. 競技規則

- a) この帆走指示書によって変更のある場合を除き、全レースを通じてセーリング競技規則2017-2020（以下、RRSという）に定義する規則を適用する。
- b) RRS付則Pを適用する。
- c) RRS付則Tを適用する。

2. 運営者の責任範囲

日本セーリング連盟、日本レーザークラス協会、公式役員及びボランティアは、大会期間中における人身事故、物品の損失及び個人的な負傷、あるいは事故に関して、一切の責任を負わない。

この帆走指示書の規定は、競技者自らのセーリングするヨットの取扱いに関し、唯一かつ完全な責任を有する競技者個人の全面かつ無限の責任を一切制限したり、減じたりするものではない。

3. エントリー

- a) 日本レーザークラス協会の当年度メンバーまたはスポット会員のみ本大会に出場する事が出来る。
- b) 本大会の全レースを通じて、エントリーフォームにヘルムスマンとして、その名を記した者が乗艇しなければならない。

4. 帆走指示書の変更および選手への通告

この帆走指示書の変更および選手への通告は、その日の最初のレースのスタート予定時刻の遅くとも1時間前までに、公式掲示板に書面で提示される。

レース日程の変更は、2017年8月5日の19:00までに掲示される。

5. 公式掲示板および

陸上における信号用マスト

公式掲示板はレース本部に設置される。陸上における

6. 陸上における信号

- a) 陸上における信号は、陸上の信号用マストより発せられる。
- b) 陸上の信号用マストに“V旗”が展開（音響信号1発）された時は、いかなる選手も“V旗”が降下（音響信号1発）されるまで出艇してはならない。
- c) 陸上の信号用マストに“AP旗”が展開（音響信号2発）された時は、レースは延期され、予告信号は“AP旗”降下（音響信号1発）後1時間以降に発せられる。

7. 計測

艇、衣類および装備のチェックは、レース委員会の判断により、本大会中、随時行うことがある。

8. 安全

- a) 各選手は、ライフジャケットあるいはウエストコーン型救命具を、出艇中は常時着用しなければならない。ウェットスーツはこれらの代用とはみなされない。（RRS40及びその前文を変更）
- b) レスキューボートに救助を求める必要がある場合には“手のひらを広げて”振り、その意志を表わすこと。救助の必要のない場合は“こぶしを握って”振ること。
- c) 必要とみなされた場合に、各選手は艇を放棄してレスキューボートに乗艇するよう命じられることがある。この安全に関する指示に従わない場合、失格となる場合がある。
- d) 直径6mm、長さ5m以上のバウラインをバウアイに付けておかなければならない。

9. 出艇・帰着申告

- a) 出艇、帰着申告にはサインオン、サインオフシステムを採用する。各艇は、出艇前にレース本部の所定の用紙にサインオンして出艇し、かつ当日の最終レースにおけるプロテストタイム内にサインオフしなければならない。ただし出艇場所が逗葉フリート以外の場合、その地域のフリート代表者がその地域からのレース参加者の出着艇状況を記載した一覧をレース委員会に提出することで申告

実施とみなす。

- b) 出着艇申告が履行されなかった場合、全てのレース得点をDSQとされる。ただしプロテストタイム終了後15分以内にレース本部に当事者より20000円の反則金が支払われた場合、そのヨットのフィニッシュ順位に戻される。

10. レース日程

a) 8月6日(日)

- 8:30 選手受付
9:00 艇長会議
10:25 第1レース予告信号
以後順次レースを実施。
14:30以降のスタートは行わない
17:00 逗葉フリートにて表彰式ならびにレセプション
18:30 終了

- b) レース予定数は最大4レースとする。

- c) スタート順は原則として4.7→ラジアル→スタンダードとするが各クラスのエントリーが5艇未満の場合は他のクラスとの合同スタートとする。

11. クラス旗

- ・スタンダードクラス⇒白地に赤
 - ・ラジアルクラス⇒緑地に赤
 - ・4.7クラス⇒黄色地に赤
- のレーザーマークとする。

12. スタート

- a) スタートラインはコミッティーボートのオレンジ旗を揚げたマストと帆走指示書15(b)に示されるスターティングマークとの間とする。
- b) スタート信号5分以内にスタートしない艇は、審問なしに、DNSと記録される。

13. スタートの罰則ルール

“黒旗”の罰則ルール

- i) RRS30.4 [黒色旗規則] に下記を追加する。
セイルナンバーは3分間以上掲示される。

ナンバーの掲示と同時に音響信号1発が発せられる。ナンバーの掲示された艇は、新たな準備信号以前にレースエリアを離れなければならない。

- ii) レースエリアの定義は下記の通りとする。
- ・スタート信号前
スタートラインから100m以内。
 - ・スタート信号後
ヨットが通常のレースで帆走するであろうと思われる場所から100m外側に引かれた仮想線の内側。

14. コース、及びレースエリア

- a) コースエリアは、公式掲示板に示されるコース水域図上におおよそ示された水域である。
- b) コースは別途コース案内図に示す通りとする。
スタート-1-2-3-1-3-フィニッシュ

15. マーク

- a) マーク①についてはオレンジ円筒(大)ブイとする。②, ③はオレンジ円筒ブイ(小)とする。
- b) スターティングマークとフィニッシングマークはオレンジ円筒ブイ(小)とし兼用とする。
- c) 16. のレグまたはフィニッシュラインの変更は、変更前のマークと同じ形状のマークを使用して行われる。

16. レグまたはフィニッシュラインの変更

下記の通りRRS33 [コースの次のレグの変更] を変更する。

- a) レース委員会は、すべての選手のセーリングに影響を与えないと判断した場合、スタート後に、コース上の1つまたは複数のマークの位置や、フィニッシュラインの位置を移動したり、あるいはレグを伸ばしたり縮めたりすることがある。
- b) レース委員会が、上記a)によるレグやフィニッシュラインの変更がセーリング中の選手に影響を与えると判断した場合には、変更されたレグが始まる地点付近に位置するコミッティーボート上に“C旗”が展開される。
- c) レグの伸縮を示す“+”および“-”の信号は示されない。

17. リタイア

レース中、もしくはフィニッシュした後にリタイアする艇は、帰着前に本部船にその旨を報告した後に帰着する。トラブルにより本部船に寄れない場合はレスキュー艇に報告して帰着する。また帰着後は各出艇場所のエントリーとりまとめ代表者に帰着報告をする。

18. コース短縮

3レグ以上を消化した場合のみ、コースを短縮することがある。

19. フィニッシュライン

フィニッシュラインは「青旗」を掲げたコミッティーボートのマストと、帆走指示書15(b)に示されているフィニッシングマークとの間とする。

20. タイムリミット

トップ艇フィニッシュ後、15分以内にフィニッシュした全ての艇に順位が与えられる。その他の艇は、審問なしに、フィニッシュしなかった艇(DNF)としての得点が与えられる。(RRS35 [タイムリミットと得点] を変更)

21. プロテストタイム

- a) プロテストタイム(抗議締め切り時刻)は、その日の最終レースにおける最終艇のフィニッシュ後2時間とする。
- b) プロテストタイム終了時刻およびその延長は、公式掲示板に掲示される。また出着艇場所が逗葉フリート以外の艇については抗議締め切り時刻前にレースオフィスに連絡した場合は抗議締め切り時刻を延期することが出来る。

22. 抗議

- a) RRS61.1(a)に以下を追加する。

「レースエリアでインシデントに関与したか、または目撃したインシデントに関わる抗議をしようとする艇は、その艇がレース中でなくなったあとの最初の適切な機会に、コミッティーボートに口頭で抗議の意思を申告しなければならない。」
- b) プロテストフォーム(抗議書)はレース本部(逗葉フリート)に用意される。

- c) 全ての抗議は、書面にてプロテストタイム内にレース本部(同フリート)に提出されなければならない。
- d) 審問の時間と場所は、プロテストタイム終了20分後に公式掲示板に掲示される。
- e) 抗議に関する艇は、プロテストタイム終了の20分後に公式掲示板に発表される。公式掲示板を確認し、審問に出席すること(証人を含む)は、当事者各個人の責任による。

審問に関係する参加選手は、指定された場所において呼び出されるまで待たねばならない。抗議者、あるいは被抗議者が出頭しなかった場合には、一方あるいは両方の当事者不在のまま審問が行われる。

23. 得点方式

得点方法にはRRS付則Aの低得点方式を適用する。ただし4レース未満成立の場合はすべてのレースの合計を得点とする。4レース成立の場合は、最も悪いレースのポイントのポイントを除外する。最低1レースをもって本大会は成立する。

24. チームボート

延期信号が発せられない限り、チームボート及びサポートは、最初の予告信号から、最終艇のフィニッシュまでの間、レースエリアに入ってはならない。延期信号が発せられた場合は、その信号が発せられてから、延期信号降下後、最初の信号までの間、チームボートはレースエリアに入ってもよい。

この指示に違反した場合、関連するヨットをシリーズ全体から失格の対象とする場合もある。

25. 賞

下記の者には賞が授与される。

- ・スタンダード 上位
- ・ラジアル 上位
- ・4.7 上位

24. 運営艇

運営艇は、下記のとおりとする。

- 本部船：逗葉アキレスボート
- レスキュー艇：逗葉ハイキング
- JURYボート：江の島ラバー

<コース図>

S→1→2→3→1→3→F

